

第4回 小平・村山・大和衛生組合資源物中間処理施設運営連絡会

議事要録

日 時：令和元年7月20日（土）

午前10時から午前11時40分

場 所：資源物中間処理施設

参加者：4名

傍聴者：3名

《説明内容》

- ・ 操業状況（5・6月）
- ・ 緊急停止時の復旧手順
- ・ イソシアネートに係る情報
- ・ VOC四季ブランクデータ
- ・ 悪臭調査

《確認事項》

- ・ 第3回議事要録の確認

《主な質疑等》

1 施設の操業状況について

（委員）

- ・ 施設で分別する中で、市によって偏や分別状況が違うとかあると思いますが、気づいたこと何かありますか。

（組合）

- ・ 市によって違いがあるように感じています。すでに、収集作業員の会議の席で状況を伝えています。

現在、市とも調整していますが、組合で組成分析調査を行う予定です。その結果を伝えることで、分別の徹底を図っていただきたいと考えています。

（委員）

- ・ 組成分析の予定としてはいつぐらいか。

（組合）

- ・ 8月には行いたいと思っています。不適物の混入は、基本的には市民の分別不徹底によるものです。市民へのPRについては市にお願いをしています。組合では、不適物について、収集段階で分かるものは確認し搬入しないように、収集作業員

への説明を続けています。ご存じのとおり収集作業員の方は非常に忙しい。収集袋を収集車に投げ込む作業の中でどこまで確認できるのかは収集作業の方の意見を聞きながら、ということになります。

(委員)

- ・最終的にいうと、市民の分別になると思うので、収集する段階で分別するというのは現実的ではないと思います。市民に対するその市の広報の仕方とかそういったところも含めて、是非担当者は1回来て話しをしていただくとありがたいと思います。

(組合)

- ・今回、次の運営連絡会の日程が決まった段階で、各市に出席要請をしたいと思います。

(委員)

- ・不適合品の（搬入する資源の中の）割合は、結局持ち込まれた量の按分を出していくしかない。市ごとに税金がかかっていくわけだが、それが一律にされて、きっちり分けているところも、結構いい加減なところも、同じように経費負担せざるを得ない。その辺って不公平。私なんか東大和だけど、その辺はおかしいと思う。

(組合)

- ・市ごとの良し悪しもありますけど、組合として、全体が現状で良いとは思っていません。例え今良いところでも更に良くしてもらおうという努力は、施設側として不適合物はゼロにしてほしいので、強力に要請していきたいと思います。

2 依頼事項について

(1) 緊急停止時の復旧手順

(委員)

- ・(トラブルがあった場合) 運営連絡会で報告、説明をするということですが、今は2か月に1回開催しているが、運営が安定してきたら年に2回程度まで減らしていくという話しが、以前あったと思う。その場合、例えばVOCの濃度異常があったときに最長で半年空いてしまうとなると、期間的に長すぎるのが若干気になると思います。

(組合)

- ・わかりました。下段のVOC濃度異常については直ちに皆さんに連絡して集まっていたいただいて、報告をすることとします。

(委員)

- ・運営連絡会じゃなくても良い。事情説明みたいなものを開いてもらって近隣の人が参加できるようにして、運営連絡会の代表だけではなくて、近くの方は気になるのだから、参加するような形にしないとダメだと思う。

(組合)

- ・スムーズに状況を皆さんにお知らせするという形としたいと考えていますが、状況によります。どちらにしても速やかに情報提供をするつもりです。
- ・これは中島町でも同じ対応させていただいています。あつてはいけないのですが、中島町では環境事故がありまして、そのときは直ちに文書で皆さんにお知らせをしています。同じような対応をいたします。

(委員)

- ・火災のリスクもあるでしょうし、作業されている方の安全衛生上の問題も発生する。市民サイドは意識を向上させないと。それも含めて9月に担当者に来ていただいて、話をさせていただきたいと思います。

(2) イソシアネートに係る情報

(委員)

- ・海外では規制の対象になっているのですか。

(組合)

- ・法令の規制はありませんでした。
例えば、資料の3ページの中段下にありますが、アメリカの産業衛生専門会議の勧告している値があります。規制基準がいくつというのはない。無毒性量の値を決めて判断しますとか、いろんな組織、機関が勧告なり判断をする値を示しているようです。

(委員)

- ・許容濃度ってこれを超えるとまずいということですよ。

(委員)

- ・例えば、1日8時間、週40時間の繰り返し労働における作業者の許容濃度は、確か一般的にはその濃度で1日8時間を一生涯、その環境に居続けても影響がほとんどないことであろう数値ですよ。安全衛生規則とかで。

(組合)

- ・関連して申し上げますと、室内濃度指針、厚労省の μg というのも家庭の中での濃度がそれ以下であれば、一生涯そこで暮らしても問題なかろうという数値です。ここで、今おっしゃったところを見ると、 0.45mg と示されています。組合が測

定しているのは μg ですから、 μg に換算すると450になります。ですから高い濃度であると思います。イソシアネートを調べて分かったのは、分かっていない物質であるということです。いろんなところでいろんなことが言われていますけど、良くわかってない。測定方法も確立していないようです。

(委員)

- ・この施設でそういうものが発生する可能性は低いと考えていますか。

(組合)

- ・健康への影響があるような濃度となる可能性は、非常に低いと思います。ただ、ゼロということはないです。大気中にもあります。

(委員)

- ・それは他の物質についても同じですよ。イソシアネートに限らず。

(組合)

- ・そうです。

(委員)

- ・排出に関してイソシアネートも考えるという事ですね。つまり、フィルター通して光触媒で除去して出すわけですよ。その時には当然除去されていると考えるってことですね。

(組合)

- ・活性炭吸着は効き目があると思いますが、光触媒がイソシアネートを分解する力があるかどうかは分かりません。

(委員)

- ・地域住民としては、訳の分からない物質が出てしまって、個人差があって知らない間に健康被害を受けるのが一番怖いので、健康被害に関しては十分注意してもらいたい。組合としてアンケートとってもらおうとか、ある程度の段階では必要であると思います。

(組合)

- ・組合としてアンケートは取りません。何かあったら組合に言ってきてください。
- ・不安をお持ちの方に対して組合が説明をして、不安をできるだけよいような状態にさせていただきたいというのがこの会の最も大きな目的です。日常で使っているペットボトル、トレー、お菓子の袋、シャンプー、リンス、化粧品などもそうですけれども、家庭の中でたくさんあるものを処理しているわけですから、基本的

に体に影響があるものは発生しないだろうと思っています。ただ、それが集まることによって何かあるのではないかと皆さんお思いなので、そのことに対して答えていこうと思っています。

イソシアネートについて言えば、生活の中で建材などに多く使われているわけです。この方（研修室）が濃度高いのではないかという気がします。新幹線の中とか。

（委員）

- ・ここから出る排気よりもということですよ。接着剤とか書いてあるのですが、壁紙の接着剤とかに入っていますよね。

（組合）

- ・はい。

（委員）

- ・イソシアネートに限らず、日常的に使っているものは安定した状態で使っているが、ここ（施設）でやっているのは、破碎とか圧縮梱包とかをやるわけですよ。

（組合）

- ・破碎はしていません。破袋、袋は破っています。

（委員）

- ・ペットボトルと容リプラの圧縮梱包をしているわけですよ。前提として、まず僕らは（化学物質が発生しているとしても）納得して使っている物と、（施設がそこにでき）納得していないものに対して、被害の恐れを感じていることには違いがある。それから、使っているものに関しても、僕らが日常的に使っている物と、ここで圧縮梱包の作業をして発生するものは違うわけだから。家で使っているから大丈夫という論理はちょっとおかしいと思います。

（組合）

- ・圧縮梱包処理は、物理処理ですから、焼却炉のように燃やしてはいないので、化学変化によって何かができるということは少ない。ほぼないといえます。厳密には、摩擦がありますので、少し熱は出ます。ただ、圧縮するときの擦り面はとけてはいません。

（委員）

- ・地域住民としては、何かが出ているのではないかという恐れは感じるので、この会にも参加するわけだし、しつこく言っているわけです。

（組合）

- ・環境測定値などをお示しし、説明を通じて安心をしていただきたい、という（運

営連絡会は) 会なので、組合はそういう数値などを皆さんに公開していきます。

(3) VOC 四季ブランクデータ

(委員)

- ・ T-VOC のそれぞれの測定方法 (ブランクと性能検査) が異なっているということなので、前回の性能検査のとき、T-VOC が確か 120 とかという数字が書いてあったと思いますが、それとこのブランクの平均、50、42、一番高いところで 50 というのが一概に比較できないという認識で良いか。

(組合)

- ・ その通りです。

(委員)

- ・ 前回の T-VOC の測定方法が異なる、厚労省と環境省で、どちらの方が数字が高く出るのか。

(組合)

- ・ 私 (片山) は、環境省の方が高く出ると思います。

(委員)

- ・ 環境省の方が高い数値が出るとなると、ブランクデータの方が高く出るという事ですね。そちらで 42 とかで出ていたものが実際の性能検査より少なく出る数字で、120 とか出ちゃうと印象として高くなるのかなと、結構高い数字が出ているという認識になってしまいます。そのあたりの不安を解消していただけるような説明をされていていただけるとありがたいと思います。
- ・ あと、ブランクデータの方でもマックスとミニマムも教えていただきたい。平均が四季ごとのものしかこちら載ってないので、次回お願いいたします。

(組合)

- ・ 環境省の方が大きく出るだろうと言った理由は、環境省の VOC の定義が常温で気体である有機化合物を VOC と定義 (一部、光化学オキシダント、スモックに関係ない物質を除くというふうになっている。) しているのに対し、厚労省の VOC は炭素数が 6 から 16 の範囲の有機物と定義しているためです。範囲が狭いので、小さく出るのではないかと思われるからです。もしかすると変わらないかもしれないし、たとえば物質が偏ったりすると違ってくると思います。

(委員)

- ・ 地域住民に対して影響が及ぶであろう範囲については。

(組合)

- ・ 施設が影響を与えるであろう範囲として設定したのが、この運営連絡会の対象範囲です。この範囲は、ひとつには収集車両が通過する道路を生活道として利用されていると考えられる範囲、もう一つは施設が視認できる施設から半径 200 メートルの範囲としています。近くに建設された、新しい施設が何をやっている施設かわからない状況では、不安になる方もいるのではないかと考えて設定しました。

(委員)

- ・中島町は、排気について調べて、確か600mの範囲で、こちらは200mとしている。排気調査はやらないのか。

(組合)

- ・中島町の処理は化学処理で、新しい物質ができて、それが有害であることが分かっています。また、それらについては規制基準があつて、拡散計算をした結果に基づいて範囲を決めています。

(委員)

- ・説明を受けているだけであつて、常に不安が付きまとっている。中島町に比べると大雑把で納得できないですね。

(組合)

- ・中島町の施設は、焼却施設ですから排気ガスが出ます。こちらはそのような施設ではありません。

(委員)

- ・ここは、中島町の施設の影響範囲でもある。複合汚染も考えられる。

(組合)

- ・有害物質などをゼロにすることは不可能です。リスクゼロはあり得ない。だからいまできる技術水準で、基準値を設定しています。

(委員)

- ・複合汚染の心配が常にある。そもそも、この場所になぜ造ったのか疑問がある。影響を受けることは十分認識してもらいたい。

(4) 悪臭調査について

(委員)

- ・投入ピットから車両が出るときに臭いがしたとの声を聞いた。
- ・テニスコート付近でも臭ったと聞いた。

(組合)

- ・一番臭いところで採りたいと思いますが。
- ・投入室、プラットホーム、保管ヤード、圧縮梱包したものを保管しているところ、が良いと思っています。もちろんみなさまと約束している基準は敷地境界における基準ですから、敷地境界は採ることにします。よろしいですか。

(委員)

- ・はい。

(組合)

- ・日程は組合で決めさせていただいて、通知させていただくこととしたいと思いますが。

(委員)

- ・来られるかどうかはわからないので、写真対応で、ここでやりましたというのは見せていただけるという認識でよろしいですか。

(組合)

- ・はい。

3 意見交換

(委員)

- ・運営連絡会で、以前から言っていますが、管理者の出席がないというのは、おかしいと思っています。これは形式的なことではなくて、組合の姿勢の問題だと思っています。管理者が一度くらい来てあいさつするのは当然だと思う。

(組合)

- ・担当者の出席をお願いすることは考えていますが、管理者の出席は考えていません。いただいた意見は持ち帰ります。

(委員)

- ・一方的に組合側の勝手な位置づけで開かれ、一方的な意向で解散させられてしまう恐れがある。地域連絡協議会と運営連絡会は一貫しているとの規定はない。

(組合)

- ・用地選定、環境影響、建物さらに運営を含めて地域連絡協議会を設置させていただいた。その中の運営についてこの運営連絡会にお願いをしているということです。

(委員)

- ・地域の人たちを集めて、会を開いているのに、管理者である小林（小平）市長が1度も出ていないというのは、組合の姿勢がおかしい。

(組合)

- ・組合の事務方の責任者である事務局長があいさつをさせていただいています。

(委員)

- ・小平市の搬入量が一番多いのはなぜですか。

(組合)

- ・3市全体の人口35万人のうち、小平市の人口は19万人、人口によるものです。

(委員)

- ・各市の代表者、担当者が来ていただいて、説明があるのは容器包装プラスチックを減らす方向でということですか。実際処理できないものも含まれているので、分別をもっとちゃんとしてくださいという啓蒙のためも含めて、2つの目的があるのですか。

(委員)

- ・3市で収集方法がそれぞれ違うという状況です。収集する段階までは各市の担当ですよね。来たものに関してはここの処理施設の管轄になるので、3市の収集方法が違ふとその不適物の割合とかも変わって来るのではないかと。3市は足並みを揃える必要がある。
- ・収集や分別の方法、啓蒙の仕方が、例えば市ごとに違っていて、不適物の割合が違う状態だと、そのコストの負担でも、いい加減な分別で持ってくる市があったとして、例えば不適物が多く入ってくれば、光触媒とか活性炭とかの寿命とか短くなったりしますよね。3市で負担しているのに、その市と同じ負担をするのはおかしいというところがある。足並みを揃えてもらうために3市の担当者に来てもらいたいということで、前回、前々回くらいからお願いしている。

(組合)

- ・2つに限らず、市の廃棄物行政全般についても説明があると思います。組合としても周辺の方々が疑問を持ち、不安を持っていることを直接話していただいた方

が、強くアピールできるのではないかと思います。

(委員)

- ・この施設の方針と言うのか、プラスチックの排出量を減らしていくような方針ですか。例えば、プラスチックを減らしていくように、何か運動していくとか広報活動していくとかということはこの施設は積極的にやっていくのではないのですか。

(組合)

- ・理想は、施設がなくても市民生活に支障がない状況となることだと思っています。3市ももちろんそう思っています。ごみの減量に係る市民へのPRは市役所の仕事で、組合が直接市民に対応できるのは見学の間です。見学に来たときに「処理は非常に大変です」という話をしますが、まず、「プラスチックはなるべく使わないようにしてほしい」「プラスチックでない物で良いものがあれば、それを使ってほしい」とお願いをしています。

(委員)

- ・あともう1つ。抜き打ち検査をしますということですが、具体的にどんな方法でやるのか。

(組合)

- ・プラットホームに空けて、人海戦術で展開をします。袋を1個1個ばらして不適物と、刃物や缶などの異物を取り出し、その搬入割合がどの程度あるかを測りたいと考えています。
この結果を市に伝えることで、市民に分別の徹底について強力な広報をしてもらうということと、明らかに収集段階で分かるものであれば、直接収集作業員に確認してもらい、施設に搬入しないように指導したいと考えています。

(委員)

- ・全体量に対してどのくらいの不適物があるか、按分すると思うが、どこの市のトラックかということは分かりますか。

(組合)

- ・分かります。

(委員)

- ・排ガスの調査をされるって言っていたじゃないですか。

(組合)

- ・検討していますとお話しはしました。

(委員)

- ・排ガスはドライアイスを使った、拡散。

(組合)

- ・ドライアイスを使う方法なども考えていますと話しましたが、「ドライアイスは数mで消えてしまうので、拡散状況が分からない」との意見がありました。そこで、発煙筒にすべきかとの話はしたと思います。しかし、発煙筒にしますと周辺への影響が大きいので、隣接するパチンコ店などに説明をし、理解を得るとともに消防署への届が必要になります。理解してくれるかどうかは気がかりで、できればやりたくないと考えています。

(委員)

- ・さっきもお願いしたけど、健康被害がないかなど、アンケート調査の予定とか将来的には考えていますか。

(組合)

- ・それは考えていません。

(委員)

- ・水俣病にしても奇病だとか風土病だといわれて、調べてみたら工場が原因だったということもあった。そのような可能性があるわけだから、もうちょっと謙虚に対応すべきだと思う。

(組合)

- ・施設は、健康被害を起こさないように設計し造っています。
- ・みなさんは地域で暮らされていて、マンションを代表して参加されているので、できれば住民の方々からいろいろな声があれば、我々の方に伝えていただきたい。また、地域住民の方が直接組合に言っていただいても構わないので、是非このことをみなさんに伝えていただきたい。

(委員)

- ・ランニングコストですが、どれくらいかかっているのかは、僕ら全然わからない。税金払っているわけで気になる。実際、もう2、3か月操業しているわけで、どれくらいかかっているのかは、明らかにしてもらえますか。

(組合)

- ・予算では、年間約2億5,000万円です。

(委員)

- ・決算段階で、予算の消化率とかは説明してもらえますか。
- ・3市の負担割合なども教えてください。

(組合)

- ・はい。

(委員)

- ・そのうちお願いしますけど、ホームページが分かりづらい。

(組合)

- ・わかりました。工夫できるところはしていきたいと思います。